

## ●桜舞い散る新緑の息吹、新たな始まりです。

### ○公園内に咲く花タンポポ

公園で咲くタンポポには、日本タンポポと西洋タンポポがあります。春に咲くものは、日本に昔からある在来種です。タンポポが咲くと春の訪れを感じ気持ちも暖かくなりますね。



①日本タンポポ



西洋タンポポ

### 日本タンポポと西洋タンポポの見分け方

在来タンポポの花は一つの茎の先に房状に咲き、黄色い花弁が特徴です。一方、西洋タンポポは長い茎の先に一輪ずつ咲き、花びらが少なく、より細かい印象を与えます。また、総苞が下に反り返っています。園内のあちこちに咲きます、探してみてくださいね。



総苞

(そうぼう、写真は西洋タンポポ)



### 今月の鳥 【ウグイス】

スズメ目ウグイス科ウグイス属に分類され、オスは全長約15.5cm、メスはそれより2cmほど小さく、色はオス・メス同じ、ヤブの中にいることが多く、見つけることは難しいです。さえずりは、ホーは吸う息、ホケキョは吐く息、胸をふくらませてさえずります。その鳴き声は、春の訪れを告げることから「春告鳥（はるつげどり）」、日本三鳴鳥（にほんさんめいちょう）でもあります。また古今和歌集では「鶯（うぐいす）の谷より出づる声なくは春来ることを誰か知らまし」と詠まれています。「鶯よ、早く山から出て来て皆に春を知らせておくれ」という思いを詠んだものです。古くから日本の文化に根付き、親しまれている鳥なのです。



★ウグイス

### ○公園名所案内「古河公方足利義氏墓所」

古河公方第五代足利義氏は1541年に生まれ、1552年から1583年まで古河公方を務めました。義氏は北条氏の影響下で実権を持たず、1583年に亡くなりました。その後、古河足利家は断絶しましたが、義氏の娘（氏姫）が喜連川氏を興しています。義氏が葬られたと考えられる徳源院跡は、桃林の中にあります。



③徳源院跡

### ○春、桜と言えばソメイヨシノですね

ソメイヨシノは、日本の代表的な桜の品種であり、淡いピンク色の花が一斉に咲き誇り風に舞う様子は神秘的で美しいですね。花びらの数は5枚一重咲きの品種です。江戸時代に枝垂れ桜の特徴を持つソメイヨシノが誕生し、現在では全国各地に植樹されています。



②ソメイヨシノ

### ○4月の花のご紹介

これから4月中旬から下旬にかけて花を咲かせる花木のご紹介です。ハナミズキは、美しいピンク色の花を咲かせる落葉高木。フジは、つる性の落葉樹で、春に紫色や白色の花を咲かせます。ポタンは、春から初夏にかけて色鮮やかな花を咲かせます。これから咲き出す花が楽しみですね◎



④ハナミズキ



⑤フジ



⑥ポタン

### ★古河公方公園公式アカウントを開設しました！

是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。

- Instagram @koga\_kubou
- X (旧 Twitter) @kubou\_park

### インスタグラムアカウント



### X (旧ツイッター) アカウント

